地域づくりの必要性について

資料1

＜新たな地域づくりビジョン（仮）＞

ゆるやかなつながりを大切に、地域をもっと好きになる！

④ 新たな地域づくりビジョン実現のために必要なこと

「地域づくり」の３原則をおさえた地域におけるアクション（地域における日常の行動）

- 何ができるのか？
- アクションを阻害する要因は？
- アクションを行う上で必要なことは？

行政として用意するしくみ

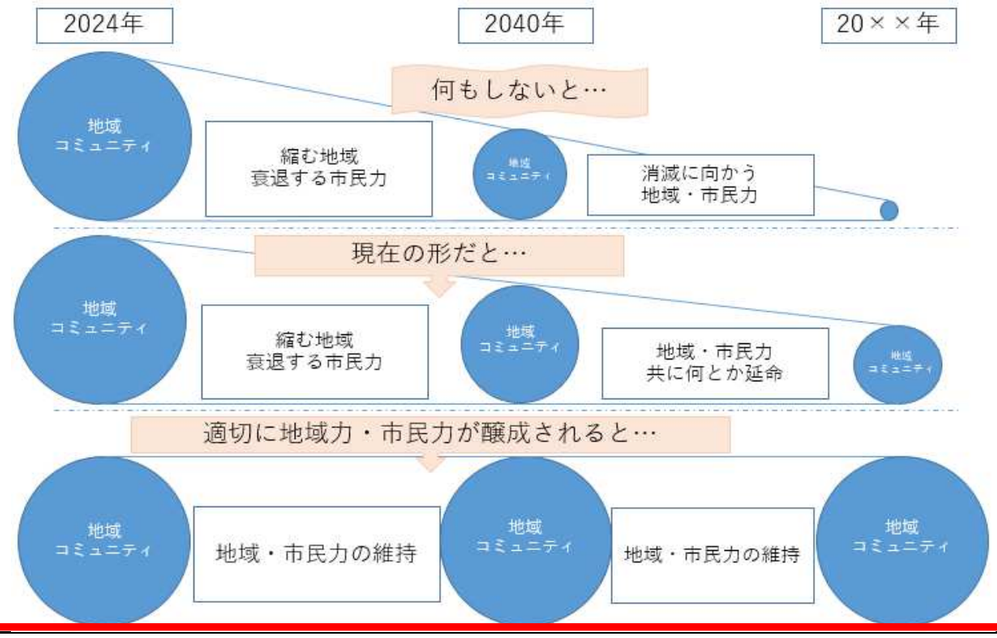
- 支える
  地域づくり団体制度（補助金含む）など
- つなぐ
  地域内外の活動をつなぐﾈｯﾄﾜｰｸ など
- 掘り起こす
  事業の周知・PR など

① アンケートなどから見える地域づくりの必要性

- もう少しゆるやかなつながりがほしい
- 本当はもっと地域でやりたいことがある
- 地域のことを知らない、機会が無いから愛着もわかない
- 人口及び税収の減少
- 複雑化・多様化する課題に対応する行政需要の高まり

※第３回懇談会で共有

地域コミュニティの未来



② 地域づくりの定義

地域が主体的に地域の魅力や地域課題を把握し、
地域課題の解決などのために協働していく仕組みの構築

現在の状況

- **行政主導の取組**
  今後の地域づくりの仕組みを考えるうえで、必要な知見を得るためのモデル検証として行政がお願いする形でスタートしたことから、市と地域の方々との共同型に近い形で運用
- **全市的な展開は困難**
  共同型に近い形で運用されているため、推進会議に対する現在の市の関わり方だと、市の限られた人的・財政的リソースでは全市的な展開が困難
- **煩雑な組織形態**
  地域づくり推進会議が市の要綱に基づき設置されていることから、活動内容に制限がかかってしまい、地域づくり活動団体の設立が必要となるなど、組織形態が煩雑になる

③ 持続可能な仕組みにしていくにはどうしたら良いか？

★仕組み（やり方）の変更が必要
どのような仕組みを目指し、どのような変化が必要なのか

目指すべき仕組み

- **「地域づくり」の３原則をおさえた地域主導の取組**
  地域づくり３原則
  ①自発の原則…その取組みが自発的な動機に基づくものであること
  ②自前の原則…自前の「地域資源」を活用すること（内発）
  ③自在の原則…「地域外資源」を自在に活用すること（外発）
- **全市的な展開が可能な仕組み**
  地域に対して市がコーディネートするのではなく、地域の取組に対して市が参画し、必要な時に必要な協力をする仕組みにより、市の限られた人的・財政的リソースにとらわれず活動できる
- **地域力・市民力の向上**
  市から離れた自前の組織になることで、活動の自由度が増し、更なる地域力・市民力が向上、さらに、みんなで担う公共と協働のまちの実現に向けた加速が見込まれる

庁内における検討から出てきた課題

- 地域づくりが、どのようなものを目指し、どうしていくのかということをもう少し明確にだした方が良い。
- 「地縁組織」と「NPOなどのテーマで繋がる組織」が、地域の課題解決で繋がる、やりたいことで繋がるというシンプルな形が望ましい。
- 地域でのプラットフォームの必要性が高まっている。